

!18  
ONLY  
ADULTS



ふーと：さくら荘のまじめな彼女

- I call your name again -

一人じゃ何もできない少女は  
さくら荘を去っていった——

彼女は——

別れの言葉も  
残さないままで——





入るよ  
神田くん



青山……



——そろそろ  
何か食べないと

おにぎり  
作ってきたから

何度も気を  
使わせて  
悪いけどさ  
いいから  
俺のことは  
気にするな  
って



青山……



もうそんなこと言っ  
てずっとあれから――

何も食べずに……

悲しいのは  
わかるけど

いつまでも  
このままじゃ……

わかるって  
何だよ――



え？


ここでいろいろ  
やりたいことが  
あったはずなのにさ

悲しいとか  
じゃなくて  
俺は許せないんだよ！

それも簡単に  
振りきっちゃう  
あいつも

それを  
止められなかった  
自分も……！！


せやかて……



せやから  
何なん——!!?

もう過ぎて  
しまったことを

神田くんがこうして  
悔やんでたって何も  
変わらへんやろ……!!



さくら荘に  
もう彼女は

帰って  
こーへんよ!!?





カッ

ヒッ

うあ...あれ...

ハッ

カラッ...

あ...あ...あ...





しつかりしろ  
神田空太!!

ウチの好きな  
神田空太は

こない女々しく  
あらへんよ!!

青山……

……何も  
分かってないの

神田くんの方  
やないの——!?



青山!!

クズ



ほああー

——まったくもって  
これはこれは……

何事かと見させて  
いただいておりますたら

ズズ



……メイドちゃん

空太様は  
いつの間にか  
ディレクター  
としてどころか

人間としても  
大変クズに  
なってしまう  
のですねえ……

……本当に今をもって  
自分がクズなのは  
お認めいたしますが

勝手にハッキングで  
人の部屋を覗くのは  
どうかと……

それはこちらの  
セリフですよ  
kuzu空太様

同居人が呆けたまま  
勝手に死なれてもしたら



さくら荘の皆様――

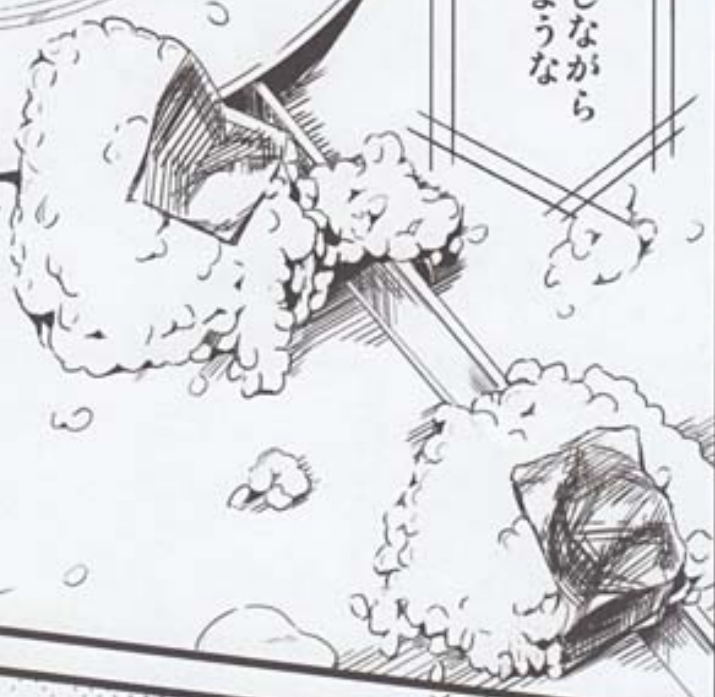
特にお隣の龍之介様に  
対しまして非常に迷惑な  
わけでございます

そのようなクズが  
いなければ私としても  
監視などせずに  
済んだのでございます



いやはやしかしながら  
七海様はそのような  
クズでさえも

仏様のような御心で  
本当にいつもご心配して  
おられましたねえ

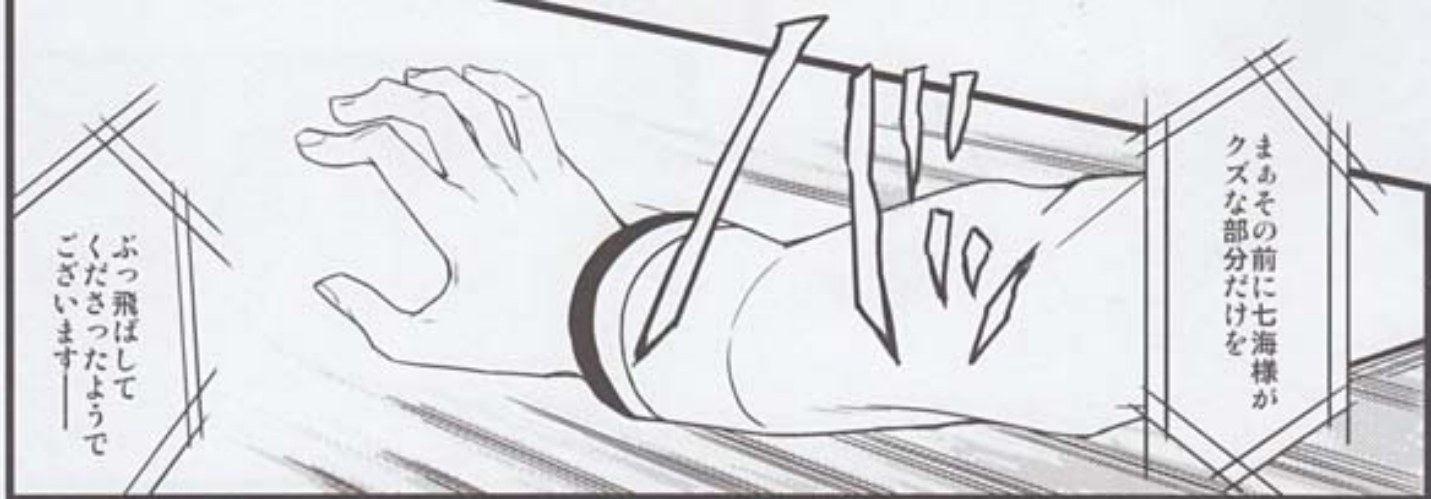


いざクズが  
おっ死なられた  
時には

証拠隠滅に部屋ごと  
爆破してぶっ飛ばそうと  
画策しておりましたが……



テ-レ-レ-レ-



まあその前に七海様が  
クズな部分だけを

ぶっ飛ばして  
くださったようで  
ございます—



うえイドふあん!  
(ノイトロちゃん)

ふおっほうあおわああ  
うはへいひっへふふ!!  
(「ちよっし」(山田)  
「おえ」(行方) (さくら))



ガ  
ズ

ガ  
ガ  
ガ  
ガ  
ガ



理解が困難で  
ございますねえ—

龍之介様以外  
人間様というものは

まったく七海様は  
空太様のどくに  
惹かれたのか…



やっと……  
見つけた……

ひま



キィ

キィ



キィ



神田くん……



青山ごめん……  
いや違うな、ありがとう

俺、バカだからどうしても  
目の前のことにしか  
頭が向かなくて



青山!!

—あいつはここで  
やりたかった事とか  
いろいろ置いて出て  
行っちゃったけど

それを俺が  
気にしてここで  
立ち止まってたら  
それこそあいつに  
失礼だし

俺が今  
かんばれてるのは  
さくら荘で一緒に  
かんばってるみんな  
青山のおかげだよ

それは自分の足で  
歩くべき道を  
見つめ直して  
また進みだしたって  
ことだし

俺自身の  
やりたいことだって  
変わらないなら

俺ももう一度  
自分の足で  
歩き出さないと

—そんな立ち止まった  
俺を引っ張ってくれたのは  
いつも青山だった

だから——  
ありがとう

うん そっか

やっぱり——



まあ、  
うん……

私もその……



つい勢いで  
先走っちゃって  
ごめんなさい

でも——

キッ……



神田くんて  
真性のDMなんだ  
叩かれて元気に  
なるなんて……

あ、ちゃう  
そういう意味  
じゃなくて!

はっ、いや、  
そーいう……ふーん

はっ!?

……性格はもう  
そんな気はするけど  
勝手に俺の肉体的  
嗜好設定にまでは  
しないでね……



ちよつと  
さくら荘  
飛び出だして  
思ったのは

ぼーっと  
歩きまわっては  
みたもの

声優目指そーって  
走り出した私には

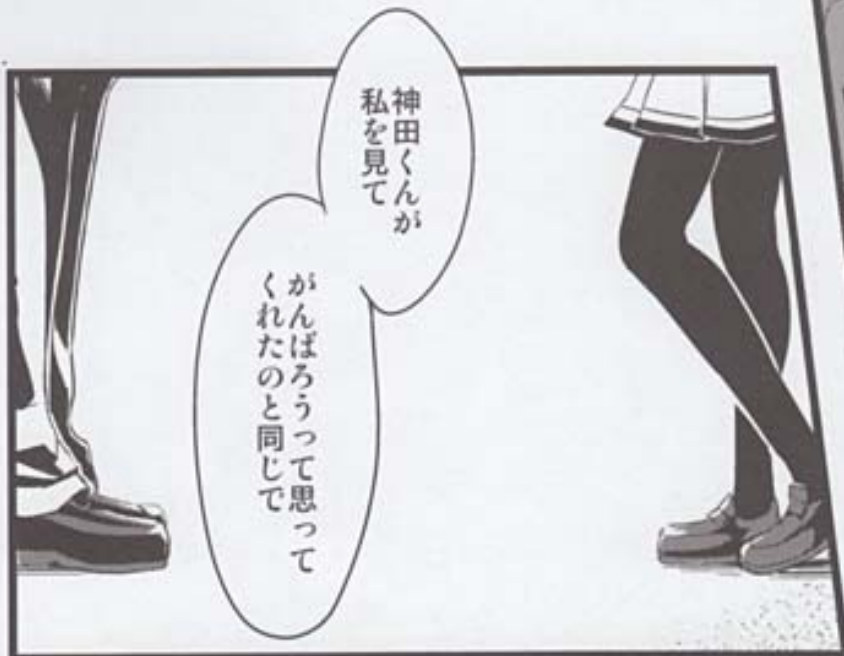
他に行く先なんか  
当然なくて……

毎日自分のやりたいこと  
貫き通して頑張ってる  
みんなといると

私も頑張ろう、って  
なれるさくら荘が——

やっぱり  
今のうちにとつての  
帰れる場所、って  
なんだなあ……





神田くんが私を見て

がんばろうって思ってくれたのと同じで



私もねー



私も神田くんのこと見てると

どんなに辛くても全然がんばれる元気が湧き上がってくるんだよ



あ、あお...

せ、せやから...今のうちが一番がんばれる場所は

やっぱり神田くんの隣なワケでして...

だからな

だから、これからもずっと神田くんの



大好きな  
神田くんの隣に——

ずっといて  
いいですか——？

……あ  
ああ！

もちろん  
——！！

……ほ

ほんまに——？

青山がずっと側に  
いてくれたら

それだけで  
もつとがんばれる  
と思うし

何より素直に  
うれしいよ

だから――

世界で誰よりも  
俺の一番近くに  
いてほしいよ

俺も  
青山のことが  
大好きだ

うん――!

……っ



あ、おや……  
こんなところで……

誰か来たら——



……っ!



またそないこといって  
別にええやん——

もう暗いしそれに  
一緒にいてゆうたんは  
神田くんやで？



あ、でも  
その——

む、胸も当たってる  
というか——



あ——

もう……

神田くんの  
むつつりとすけへ  
あかんたれ!

あ、あおや……

女の子かて  
好きなたと  
いつだって

触れあいたい  
思つとる—  
というか……

せ、  
せやから……

う、うちも  
神田くんと

いつでも  
触れて  
いたいし—

触れて……ほしい

そっか……

うん、俺も—

俺もずっと青山に  
触れていたいよ



ふあっ

……あっ

んちゅっ

あふっ

はあ

神田くん  
そないなとこ  
……!!

クネッ  
クネッ

ひゃっ!?!  
あ、あかんで!



あっ  
んああっ

ああっ、いやあやっ!  
おかしくなってる……

ああああっ!!

フリャッ

シリッ

やああ  
あかん……!

そない  
こねくつたら  
……ふあっ!

青山、俺もう…

可愛い青山  
見てたら  
我慢できない

青山と  
繋がりたい…

えいあ…や  
あかんで…

こないなとこで  
これ以上は—

さそつたのは  
青山の方だろ…？

せやゆうたかて…

ああっ…！

ふああああっ！

ズッ

ふああっ  
神田く……

え？  
あおや……

いやあっ  
なまえ……

名前で  
呼んでえや！

はあっ  
青山……！

……

な、なみ……

いや、あっ……！

んあっ  
もっと……

もっと  
聞かせて  
!!

ああ 好きだよ  
七海……！

七海……！

う、れし  
——んあっ  
はあっ  
そら、た……



—そっか、やさ

今日はほんと  
ごめん—

つかかかって  
折角のおにぎり  
落としたりして

もう  
済んだことは  
ええってば…



うん—でも  
おにぎりホント  
美味しかった

また七海の  
おにぎり  
食べたいよ



—そっか

せやったら  
うちも嬉し—



ふああつ 空太—!!

くっ  
七海!

ああつ—!!

!!





調子おかしなる  
ことばっかで

なんやもう  
今日はほんま  
空太のせいで

折角の雰囲気  
だいな、し……



——って、  
ちょい待ち

もしかして  
落ちたの  
食うたん!?

きたなっ!  
新しいの  
作ったるさかい

そんな  
食べんでも  
ええよ!

とらうか  
お半ズが落ちた  
おにぎりの味で……

ま、まあ

食べられそうな  
ところだけ  
だけ拾って……

ええー……

でも腹が  
すいてたし……



キュ〜ル

ルル〜ルッ

七海……さん?

ちや、  
ちやうねん!

これは  
……その

せやから……  
ああもう



……コホン  
しや、しやーないな

お腹減つとる  
誰かさん達の  
ために

おにぎり  
ぎよーさん  
作らなあかんし  
……

帰ろ  
空太!

さくら荘に——!!